

理事会議事録

日 時：2006年3月27日(月)12:30～14:00

場 所：和歌山大学栄谷キャンパスL棟1F会議室1

出席者：祖父江，井上，黒田，花岡，杉山，北本，関井，和田，百瀬，田，馬場，富田，浅田

有効委任状提出者：蜂巢，成相

欠席者：なし

その他，東條事務長が出席した。

議 長：祖父江義明

署名人：杉山 直，花岡庸一郎

報 告

1. 前回議事録の確認(資料1)

前回(2006年1月14日)の理事会議事録が報告され，原案どおり承認された。

2. 当年会について

開催中の年会について，百瀬理事・田理事より，講演数は614件で順調に進行中，26日に行った記者会見は5社の参加があり，また同日の公開講演会は84名の参加があった，との報告があった。公開講演会の聴衆が少なかったことについて，人口比で考えると前回の札幌での講演会と変わらないという指摘もあり，また開催地の人口や広報の方法から聴衆の数を見積もることができれば会場選定などの参考になるのでは，との意見も出された。また，記者会見・公開講演会で必要となるアルバイト等人手について申し送りにしたい，との報告があった。その他，新聞記者の方より予稿集は記者レベルでも難解であり，もっと広い範囲の方にわかるようにしたほうが研究成果をアピールできるのでは，とのコメントがあった旨報告がされた。

3. 今後の年会について

浅田理事より北九州で開催される秋季年会について，公開講演会は新聞社関係に後援を得ていること，ホームページを立ち上げ宣伝を開始すること，等が報告された。また百瀬理事より，2007年春季年会・秋季年会とも順調に準備が進行中との報告がされた。100周年記念となる2008年春季年会については花岡理事より会場確保など準備状況について報告があり，日程について現在までの検討に沿って3月23日に記者会見・公開講演会，24～27日に年会と決定した。2008年秋季年会についても開催地等に関して意見交換を行った。

4. Asian-Pacific Journalについて(資料2)

ワーキンググループにおける検討をもとに今回の総会において議論を行うことになっており，そのための資料の紹介がされた。海外における Asian-Pacific Journal の認識のされ方の状況についても紹介があった。

5. その他

(1)講師派遣プロジェクト

田理事より，3月20日に講師派遣プロジェクト宣伝のための文書を500件あまり発送した，すでに何件か問い合わせがきている，との報告があった。

議 題

1. 新入会員の承認(資料3)

資料に基づき新入会員の紹介があり，入会を承認した。合わせて退会者の報告があった。

2. 正会員の資格について

正会員として入会を認めるための資格を明確にするために，たとえば「天文学を専攻して大学を卒業した方，ないし天文学・天体観測に相当の経験のある方」というような形で入会案内に明示するかどうかについて議論を行い，基本的にその方向で具体的検討を進めることとなった。ただし入会を希望される

方について「天文学・天体観測に相当の経験のある」というのをいったいどう判断すればよいのか議論となり、すでに正会員になっている者の紹介を得て正会員になるという以前行っていたという制度も良いのではないかと意見も出され、評議員会で意見を伺うこととなった。特に研究者と直接つながりのないアマチュアの方であっても正会員として入会できる道筋を作るべきであるとの指摘もあった。これらの意見をもとに、内規等を変更する必要性の検討も含め、本年中に方針を決定できるよう検討を進めることとなった。

3. 今後の年会のあり方について

継続的に議論していく必要のある今後の年会のあり方について意見交換を行った。年会講演数の増加に対応するため当面春季年会のみ会期を4日とすることにしたが、たとえば講演時間を短縮したほうが良いかについて意見分布を知る必要がある、特別セッションが多すぎるのではないか、秋のみ特別セッションをやめるとするのは合理的である、教育フォーラムも年1回にする可能性があるのではないか、との意見が出された。

4. 学会ロゴについて

学会のロゴを制定してはどうかという提案があったことについて、100周年を記念して作るというのも良い案である、との意見も出されたが、いったん評議員会の意見を伺うこととなった。

5. その他

(1)次回以降の理事会日程

次回は6月24日(土)11:00より国立天文台(三鷹)にて、次々回は秋季年会中に開催することとなった。

2006年4月18日

議長 祖父江義明

署名人 杉山 直

署名人 花岡庸一郎